

毛細血管ラボ・社会実装コンソーシアム 2022年度 第3回研究会 オープンセミナー

2023年1月12日(木) 14:00 — 15:20

オンライン開催 配信: zoom(ウェビナー)使用

健康・加齢・美容における毛細血管の役割を知ろう!!

開会挨拶 —— 大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野 教授
／大阪大学 総長補佐 高倉 伸幸 氏

1. 血行促進と予防医学

早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 規範科学総合研究所
ヘルスフード科学部門 部門長 矢澤 一良 氏

2. 健康社会の実現に向けた腸内環境の見える化と血管・毛細血管との関連可能性

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
ワクチン・アジュバント研究センター センター長 國澤 純 氏

→コンソ会員の方は、國澤先生のご講演の終了後、パネルディスカッション(別
zoomURLになります)へアクセスください。

パネリスト: 高倉伸幸氏・矢澤一良氏・國澤純氏・武野團氏

コンソ案内 —— NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局長 国松 武史

閉会挨拶 —— NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 相談役 田中 隆治

申 込

<https://kinkibio.com/informations/2915> からお申込みください。



プログラム

～血行促進と予防医学～

血行(血流)の機能は生命維持に極めて重要であると同時に疾患予防に最も有効・有用な方法と言える。血行改善の効果は、①栄養素・酸素の供給、②代謝産物の系外への排出、③赤血球による酸素運搬、④白血球の免疫維持による末梢に及ぶ感染予防や発がん抑制、⑤血小板による出血阻止、そして見落としがちなのが⑥全身から末梢への体温の迅速な伝搬である。特に体温の伝搬については細胞内の酵素反応を適正にする事での効率の良い代謝が維持できる。反対に体温が行きわたらないと十分な代謝が出来ずに非感染性疾患や生活習慣病の発症や重症化が進展する事となる。一方感染性疾患では免疫機能を高める事にも体温は機能している。予防医学の基礎・基本は血行促進と言える。

～健康社会の実現に向けた腸内環境の見える化と血管・毛細血管との関連可能性～

健康への意識が高まる中、腸の働きが注目されています。腸は食べ物の消化や吸収を担うだけでなく、体内最大の免疫臓器として、体全体の免疫機能のコントロールにも関わっています。さらに、腸には100兆個、1000種類にもおよぶ細菌が共生し、さまざまな健康状態に影響を与えることも分かってきています。本講演では、私たちが現在進めているヒトサンプルとデータを用いた研究と基礎研究を組み合わせた融合的研究から見てきた「食品成分と腸内細菌が形成する腸内環境と健康の関係」に関する知見と共に、腸内環境と血管・毛細血管の新知見について紹介したいと思います。

タイムテーブル

14:00—14:05	開会挨拶	大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野 教授 ／大阪大学 総長補佐 高倉 伸幸 氏
14:05—14:35	講演 1	早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 規範科学総合研究所 ヘルスフード科学部門 部門長 矢澤 一良 氏
14:35—15:05	講演 2	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター センター長 國澤 純 氏
15:10—15:40	→コンソ会員の方は、國澤先生のご講演の終了後、 パネルディスカッション(別zoomURLになります)へアクセスください。 パネリスト:高倉伸幸氏・矢澤一良氏・國澤純氏 司会:藤井千春氏	
15:05—15:15	コンソ案内	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局長 国松 武史
15:15—15:20	閉会挨拶	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 相談役 田中 隆治

参加費

無 料

申 込

<https://kinkibio.com/informations/2915>

締 切

2023年1月11日(水)



主催・お問合せ:NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議

担当:国松武史・大嶋真由子

〒541-0048 大阪市中央区瓦町4丁目8番4号 井門瓦町第2ビル3F

TEL:06-4963-2107 FAX:06-4963-2127

E-mail:moshima@kinkibio.com